

秋田県

2012年10月号

Vol.76

ボランティア・NPO活動 ニュース 県南版



県南の2012年情報
ばんさん

P2
おしえてNPO
会計を知ろう！

P3
活動ウオッチング
平泉源流プロジェクト応援団

P4
特集
資金調達の方法を
考えよう part I

P5
まちの中の光と風
地域に親しまれ、
誇れる会社であるために
〜エムワン株式会社のCSR活動〜

P6
助成金情報 募集情報
地域の中で輝く星
えがおの会 鈴木佳子さん

P7
イベント情報

P8
子育てママとNPO
新たな活動への挑戦

おしえてNPO

今月の
テーマ

会計を知ろう！



卒業生との交流試合、楽しかったね。



みんな大活躍だったね。僕はスタッフとして差入れの買い出しに行ったよ。



買い出しのお金はどうしているの。



みんなから集めている会費を使ったんだ。子ども野球部は会費で運営されているんだ。



なるほど。団体としてお金を使う時は必ず領収証をもらうよね。何のためだか分かるかな。



例えば、団体で使う文房具を「ひたむき書店」で1000円分買ったとするよね。何を、どこで、何円分使ったのか、間違いないことを“証明する”ためじゃないかな。



そのとおり。でも、“証明する”って、誰に証明するんだろう。



うーん…。



お金を提供してくれている人だと思うな。会費を払っている会員とか、寄付をくださったりする人とか。



そうだね。もう一歩進めて考えると、子ども野球部の活動に参加したり応援したりしている地域の方は、子ども野球部を信用して関わっているんだよね。これから参加したいと考えている人も、地域にはいるでしょう。そんな人たちに、お金も活動もきちんとしていることを伝えることで、もっとファンが増えていくと思うよ。



なるほど。じゃあ、領収書をきちんともらって、お金を使ったり寄付をもらったりしたことを記録しておかないといけないね。

NPOに関するあれこれをひよこが分かりやすく解説



市民活動サポートセンターで働いて4年目になるライターのだまご。



まごころ中学校2年生。地域の子もたちと遊ぶ「子ども野球部」の活動を始めた。



けん
ひたむき小学校の4年生。「子ども野球部」に参加している。



「帳簿」をつけることは、NPO法人に限らず、どんな団体の活動でも基本的なことだから、まだやっていない場合は、がんばってみようね。



ところで、NPO法人の場合は、年1回、所轄庁へ事業報告書や会計書類等を提出する義務があるんだよね。



専門知識を必要とする会計に苦労している団体もあるかもしれないね。サポセンには、そんなときのための相談員がいるよ。初歩から応用まで、何でも相談にきてくださいね。

NPO法で義務付けられている 会計に関わる提出書類

●活動計算書

1年間の活動内容を金額で表した書類。活動による収入や支出、減価償却費等、どのようにお金等が動いたかが見えるようになる

●貸借対照表

決算日時点で法人の財産がどのくらいあるか金額で表した書類
※財産とは現金や預金等だけでなく、借入金や未払い金等も含めたもの

●財産目録

その時点で法人が所有している全ての資産や負債について、具体的に細かく記入した書類

※秋田県への提出期限は、
法人の事業期間終了後の3か月以内

活動 ウォッチング



平泉源流プロジェクト 応援団 大仙



▶ 後三年の観光資源を活かしたまちづくりについて語る代表の男鹿きみこさん(左)。

代表/男鹿きみこさん 連絡先/電話 050-5539-3249 (事務局 みさぽーと内)
関連URL / <http://mizuhoji.web.fc2.com/> (平泉源流プロジェクト応援団ホームページ)

平安時代後期、世の中は優雅な貴族社会から武士が台頭する社会への移り変わりを迎えていました。各地で様々な権力争いが起こる中、ここ東北でも前九年合戦、後三年合戦が勃発。現在の岩手県奥州市平泉町で栄華を極めた奥州藤原氏が登場するきっかけとなりました。

それを後世に知らしめる「平泉の文化遺産」は昨年6月に世界遺産に認定。それを受けて、後三年合戦の舞台となった史跡が残る横手市と美郷町の施策も活発化し、地域間を越えた取り組みがスタートしました。

NPO等民間非営利団体でも、以前より、後三年の歴史や文化を活かした地域おこしに取り組んでいたところがありました。平泉源流プロジェクト応援団は、これらの民間非営利団体をつなぐネットワークです。現在、2団体約10人が会員として活動しています。後三年合戦を多くの人に知ってもらいたいと活動している他団体とのつながりも生まれており、ネットワークは徐々に広がりを見せようとしています。

現在は、来月開催される「11月(さぶらひつき)後三年の古戦場おもてなしイベント*1」の準備の真っ最中。11月いっぱいイベント月間とし、期間中は史跡巡りのスタンプラリーの他、ペーパークラフトでの大鎧づくりや大鎧を再現した作品等の展示などを企画しています。11月4日には、流鏝馬や武者の演武を行ったり、子どもたちの鎧試着やおもちゃの弓での流鏝馬体験などを行ったりする予定です。

応援団が大切にしていることは、実際に見て、触れて、体験できるプログラムを提供すること。代表の男鹿きみこさんは、次のように語っています。

「今の子どもたちは写真やインターネットでいろいろなものを見たり知ったりしています。でも、目の前で実物を見せると反応はまるで違います。子どもたちだけでなく観光に訪れた方に対しても、パネル展示やグッズ販売に留まらず“本物”を追求して魅せることが大きな満足感を生むと考えています」。

イベント開催をきっかけとして目指していることは、地域の方や各種団体を巻き込み、地域を元気にする原動力を生むことです。応援団では、今後、平安をテーマにした「メイド・イン・地域」商品*2の開発も検討しています。「そのためには地元企業の力が必要で、企業が加われば観光と産業が結びつくはず。何かやりたいと思っている地域の人たちや団体や企業の方が、積極的に自分の得意分野を活かせる場を作りたいと考えています。このプロジェクトをきっかけに、みんなの力で地域の文化と誇りを後世に伝えていきたい」と男鹿さん。応援団では、後三年の観光資源を活かした地域おこしをしたいと考える仲間を随時募集するとのこと。

1000年の時を経て現代によみがえったのは、権力争いではなく地域活性化のための試行錯誤の戦い。一族一門を超えて地域を守るために、縦横無尽に動き回る現代の侍たちの勇ましい姿を見たようでした。

平泉源流プロジェクト応援団 (ネットワーク)

後三年合戦絵詞

ちっちゃいもの倶楽部

▶ 9月23日に行われた、演劇と語りで来場者を魅了した。横手語りのまつりに

- * 1 11月後三年の古戦場おもてなしイベント
平常イベントは11月中毎日開催される。
11月4日のメインイベントは「イベント情報」のページまたは団体ホームページ参照
【<http://mizuhoji.web.fc2.com/omotenasi.html>】
- * 2 「メイド・イン・地域」商品
平泉源流プロジェクト応援団の言葉で、
地元で作られた商品のことを指す





NPOは、どうして資金を生みにくいのか？

NPO活動は、よく「隙間産業」と呼ばれます。企業や行政が取り組んでいない社会的ニーズを捉えて、その課題解決を担っているからです。

企業や行政には、組織の性質上、「隙間産業」に直接取り組みにくい理由があります。企業は、利益追求を目的として設立された経済上の主体です。そのため、活動しても利益が上がる見込

みがないことに取り組むことは考えにくいのです。行政は、社会全体の利益、公益を求める事業に取り組む組織です。公平、平等というルールの中で、社会全体を俯瞰した上で必要なことを見極め、活動を行っているため、細かいニーズに対応しにくいところがあります。

NPOは、ニーズがあっても取り組みにくかった課題を積極的に解決していこうという組織です。この活動においては、サービスの受け手が支援を必

要としている方であったり、政策提言のように社会的に重要ではあっても対価性がなかったりすることが多くあります。

》NPOの財源

- ・会費
- ・寄付金
- ・事業収入費（サービス提供、業務委託等による）
- ・助成金、補助金
- ・借入金、預託金 等

社会を変える手段としての資金調達

NPO活動の現場では、少ない資金で活動を続けていくことは、スタッフにとっても社会全体にとってもメリットが少ないという悩みを抱えるところも少なくありません。

より質の高い活動を行い、社会的課題を効果的に解決するために、戦略的な活動資金の確保に取り組む団体も増えてきました。

》資金調達の手法（ファンドレイジング）の例

■対面型

- ・街頭募金活動、募金箱の設置
- ・未投函の書き損じ葉書等の物品寄付
- ・チャリティイベントを通じた寄付

■インターネット利用型

- ・オンラインサイトを通じた寄付
- ・クラウドファンディング（志を持った人や団体に対する資金提供を呼び

かけ、一定額が集まった時点でプロジェクトを実行する手法）

■他機関との連携型

- ・月々の引き落としによる寄付（マンスリーサポーター）
- ・クレジットカード等のポイント寄付
- ・冠婚葬祭寄付
- ・商品の売り上げの一部を寄付（コース・リレーティッド・マーケティング） 等

》「お金が足りない」と訴えるだけではダメ！

資金調達を始める前に、NPOが考えておくべきこと

ファンドレイジングを行う時に必要なことは、自分たちの団体や活動の内容、その必要性や成果等を、市民が納得できるようにきちんと説明することです。

存在する社会問題について多くの人たちに関心を持ってもらい、気づきや行動のきっかけを提供することが、課題解決につながっていきます。NPO

にとって、ファンドレイジングは資金を調達し、自己解決するための手段でなく、社会を変えていく手段です。

- 調達した資金は、何を実現するために必要なのか
- 必要な資金はいくらでどう使うのか
- それによって誰に、どう役立つのか

※団体や活動について信頼し、

応援してもらうために情報開示も忘れずに！

NEXT>>> 来月号では・・・

ファンドレイジングの事例として「みちのく秋田チャリティーラン&ウォーク大会」を紹介します。

この大会で集まった資金は、東日本大震災で被災した地域に寄付されます。贈呈は、10月27、28日に

横手市内で開催される「まちなか腹っちゃんフェス」で行われます。



まちの中の 光と風

今月のテーマ：企業のCSR活動

地域に親しまれ、誇れる会社であるために
～ヨコウン株式会社のCSR活動～



企業活動が地域社会に与える影響に責任を持つ



9月9日に横手市で「きょうどう!?」(あきた協働ウィーク・県民協働フェスタ2012 県南地区)が開催され、NPO、CSR*1志向の企業、行政等が日頃の活動について学び合い、協働の可能性を探りました。ヨコウン株式会社はCSR活動の紹介を行った他、シンポジウムでは代表取締役社長の塩田充弘さんがコーディネーターを務めました。

ヨコウンの経営理念には、「総物流サービスを通じて地域社会に貢献します」とうたわれています。「CSR活動は善意ではなく、企業として取り組まなければならないこと」が塩田さんの考え。公道を利用する業者の責任として、2010年より秋田県が実施する「ア

ダプト・ロード・プログラム*2」に参加しています。

社会要請への対応としては、事故が起こらないような社員教育や仕組みづくりに力を入れています。

また、塩田交通遺児愛護会を設立し、交通事故で家族を亡くした方への支援に取り組んでいます。愛護会は1990年、前会長である故塩田儀三郎氏の意志によって発足したもので、交通災害により親を失った高等学校卒業前の児童・生徒の健全な育成と福祉の向上を図ることを目的に、保護者に対し愛護給付金を支給しています。平成23年度



は8名の方へ激励金8万円、3名の方へ卒業祝金14万円を給付しました。

更に、地域貢献活動として、運送トラックの荷台に地元スポーツ団体やコミュニティFMの広告を入れ、応援を行っています。この他、東日本大震災発生後には、秋田を拠点とするバンド「BRONZE」の被災地応援ライブにおいてトラックステージを貸し出し、活動を全面的に支援しました。

*1 CSR

コーポレート ソーシャル レスポンシビリティ
(Corporate Social Responsibility)

企業の社会的責任。企業も社会の一員であるという考え方から、利益追求のみならず企業活動が社会へ与える影響に責任を持ち、組織が持続可能な経営を実践するにあたって未来の社会への投資として環境や労働問題などの社会の課題解決に取り組むという考え方。最近では、「CSR=企業の競争力強化」という位置づけが強まりつつある。

*2 アダプト・ロード・プログラム

地域の共有財産である道路の良好な環境づくりと利用者のマナー向上を図る取り組み。自治体が住民や企業、学校と同意書を交わし、一定区間の清掃美化活動を支援するもの。

秋田県では社会貢献に意欲や関心を持つ環境先進企業を実施団体としており、県管理道路の区間において、清掃や緑化作業などの美化活動や歩道の除草作業等の維持管理活動を行う。

住民が運営する、住民のための活動

塩田さんは、日本におけるCSRという考え方の基本は「お互い様」の精神だと考えています。「創業以来、弊社は、地域の皆様に支えられてきました。その恩返しとして、社会貢献活動をしていきたい。地域の中で誇れる会社、親しまれる会社を目指して取り組んでいきます。」

CSR活動は、企業が地域や顧客からより強い信頼を得ることができる方法であり、企業が地域社会と共に歩んでいくための必須条件の一つとされています。取材を通じ、地域の模範的企業でありたいというヨコウンの志の高さを強く感じました。





助成金情報

●●●子育て●●●

制度名：平成25年度キリン・子育て公募助成
対象団体：民間団体で4名以上のメンバーが活動するグループ。法人格の有無、活動年数不問
対象事業：①地域における子育てに関わるボランティア活動
 ②「地域」「子育て」「ボランティア」の3つのキーワードに合致するもの

助成金：30万円まで
助成対象期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日
応募締切：平成24年11月11日（日）（消印有効）
申込・問合せ：公益財団法人キリン福祉財団
 TEL. 03-5540-3522
関連 URL：<http://www.kirin.co.jp/foundation/>⇒**平成25年キリン・公募事業募集のご案内**

●●●環境●●●

制度名：環境保全プロジェクト助成
対象団体：環境保全活動の実績が2年以上で、助成の対象となったプロジェクトの実施状況および収支報告について適正に報告ができるNPO法人や任意団体
対象事業：国内で行う「自然保護」「環境教育」「リサイクル」などの分野の実践的活動で、2012年度中に開始予定、またはすでに開始されているプロジェクト。また、継続性、発展性を持ち、その成果が公益のために貢献するもの

助成金：20万円まで
応募締切：平成24年10月31日（水）（消印有効）
申込・問合せ：公益財団法人損保ジャパン環境財団
 TEL. 03-3349-4614
関連 URL：<http://www.sjef.org/>⇒**環境保全プロジェクト助成**

募集情報



◆「環境の達人」を派遣します
 環境学習の講師を派遣します。小学生の社会、理科にも対応。短時間の講義から十分な時間を確保した体験型授業まで、相談に応じます。
対象団体：県内市町村、学校及び住民団体等が主催する20人以上が参加する学習会
対象事業：①環境（地球環境全般、地球温暖化防止、3Rの推進、水生生物調査、化学物質、省エネルギー、新エネルギー、循環型社会等、生物多様性の保全など）に関すること ②放射能汚染に関すること ③その他、環境保全に関すること
対象期間：平成24年5月9日～平成25年3月15日
申込・問合せ：一般社団法人あきた地球環境会議
 TEL. 018-874-8548
関連 URL：<http://www.ceeakita.org/>⇒**環境の達人**



えがおの会

鈴木

佳子さん（52歳、羽後町）

みんなと一緒に料理し、楽しく食べること。それはみんなが“えがお”になれる温かい時間です。鈴木佳子さんは、かつて体調を崩し、病院に通っていました。その頃、マクロビオティック*という考え方に会いました。実践したところ、次第に体調の変化を感じるようになったのだそうです。食べ物が体に与える影響を実感したといいます。体に良いものをもっと多くの人に知ってほしいと、平成14年、関心のある仲間と共にえがおの会を設立。気軽に、安全で正しい食生活や食育、環境問題等を学びながら健康増進を図ることを目的に、マクロビオティックを取り入れたエコクッキングを開催しています。料理を楽しんだ後は、遊びや食材が出てくる絵本の読み聞かせ等を通して、子どもたちに食の大切さも伝えます。「小さい頃の味覚は大事なものです。子どもたちにしっかり料理できる大人になってほしい。家族で気軽に参加して、みんなで健康になつてもらえれば」と鈴木さんは語ります。

一方で、マクロビオティックの概念が一般に知られていない中で活動に思い悩むこともあったといいます。「参加した方や子どもたちに、玄米が美味しい、活動を続けてほしいと言われることが励みとなっています。楽しく活動することが大切ですね」と鈴木さん。現在は「メディカル・シェフ*」になることを目指して勉強に励んでいます。医療機関での検査や相談に加え、食事に気を遣うことで健康になれることを伝えていきたいと考えています。

年々増え続ける、国の財政を圧迫している医療費問題。これを解決するためには、一人一人が健康への意識を高め、実践することが必要ですね。

*1 マクロビオティック／「玄米菜食」ともいわれる食生活法の一つ。その土地で育った無農薬野菜や無添加食品・調味料などを使い、食物の薬効効果を十分に生かす料理法

*2 メデカル・シェフ／マクロビオティック料理学校「リマ・クッキングスクール」の講師、カノン小林さんが養成しているもので、個人の体質や状態に合わせたマクロビオティックの料理を考案する料理人のこと





10/16 無料・個別会計相談会 ～本格的会計のススメ～

NPO向けに、会計のプロが、初歩から応用まで具体的な相談に応じます。お気軽にどうぞ。

日時：毎月第3火曜日 13:00～21:00

場所：南部男女共同参画センター

締切：相談日の1週間前まで

申込・問合せ：南部市民活動サポートセンター TEL. 0182-33-7002

※次回の開催は12月です。

10/21 第22回横手マンドリン クラブ定期演奏会

「コーヒールンバ」「竹田の子守唄」など、マンドリンの柔らかな音色に癒されてみませんか。

日時：10月21日(日) 14:00～16:00

場所：横手市民会館

参加費：500円

問合せ：横手マンドリンクラブ

TEL. 0182-32-9438 (皆川さん)

10/20～28 ネオ・クラシック！ カクノダテ2012

角館の歴史を象徴する蔵。時代を越えて、現代のアート作品が展示される絶妙な空間をお楽しみください。

日時：10月20日(土)～28日(日)

10:00～17:30

場所：安藤家蔵、安藤家座敷蔵・太田家米蔵、他(仙北市角館外町)

参加費：無料(一部有料)

主催：文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」実行委員会

問合せ：角館町観光協会

TEL. 0187-54-2700

※初日は17:00～21:30に「夜のネオクラシック(トークイベント等)」も行われます。

10/27 シリア講座+JICA ボランティア体験談・説明会

シリアで活動をした青年海外協力隊と共に、現地の様子について情報交換します。海外ボランティアに興味のある方もぜひご参加ください。

日時：10月27日(土)

シリア講座 13:00～15:00

体験談・説明会 15:00～17:30

場所：湯沢雄勝広域交流センター

参加費：無料

主催：青年海外協力隊秋田県OB会

問合せ：秋田県OB会県南支部

TEL. 0183-42-4319 (沓澤さん)

10/27 NPO・ボランティア 活動報告会、意見交換会

まちづくりの分野で先進的な活動を行う講師を招き、報告会と意見交換を行います。ぜひご参加ください。

日時：10月27日(土) 13:30～15:30

場所：南部男女共同参画センター

講師：清水昭徳さん(NPO法人一里塚)、高橋あさ子さん(NPO法人岩崎NPO)

問合せ：南部市民活動サポートセンター

TEL. 0182-33-7002

11/3 ～叩かず甘やかさず 子育てする方法～ スター・ペアレンティング講座

親である自分自身も大切にしながら、子どもと向き合い、楽しんで子育てできる方法を具体的に学びます。

日時：11月3日(土)

講演会 10:00～12:00

ワークショップ 13:00～15:00

場所：横手市交流センターY²ぷらざ 研修室2

講師：田上時子さん(NPO法人女性と子どものエンパワメント関西)

定員：20名(定員になり次第締切)

託児：無料(20名、先着順)

締切：10月26日(金)

※託児希望者は19日(金)まで

申込・問合せ：紙芝居グループ「昔々な」

TEL. 090-5233-3097 (高橋さん)

11/4 11月 後三年古戦場 おもてなし強化月間

平安時代の雰囲気を感じ体験する本物志向のイベントです。流鏝馬(やぶさめ)実演や体験、大鎧の試着もできます。

日時：11月4日(日) 10:00～15:00

場所：平安の風わたる公園(横手市)

問合せ：平泉源流プロジェクト応援団

TEL. 050-5539-3249 (みさぽーと内)

11/11 花咲かせプロジェクト第2弾 「おおたか静流SONGS コンサート」

NHK教育「にほんごであそぼ」レギュラー「おおたか静流さん」のコンサート。音楽がますます好きになる、愉快で心にしみるパフォーマンスをお楽しみください。

日時：11月11日(日) 13:30～15:00

場所：横手南小学校大体育館

参加費：大人1000円 子ども無料ご招待

問合せ：横手おやこ劇場

TEL. 090-2844-0573 (齊藤さん)

イベント・公募情報を募集中!

「イベント情報」や「募集情報」のコーナーでお知らせしたい情報を募集しています。下記内容を分かる範囲でお寄せください(次号は2012年11月15日以降の情報となります)。情報カレンダーにも掲載されます。 締切:10月25日(木)

- イベントなど、企画の名称
- 内容(100字程度で、チラシがあれば一緒にお送りください)
- 日時
- 場所
- 問合せ先(主催、申込先、場所、電話、

FAXなど) ●その他、掲載したい情報(託児の有無、参加費、講師、定員など) ◎皆様のご意見、ご感想もいただければ幸いです。

〒013-0046

横手市神明町1-9 南部市民活動サポートセンター「はんさん」編集部

TEL.0182-33-7002

FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp



今月のテーマ

新たな活動への挑戦

みなさん、こんにちは。暑かった夏が終わり、朝晩は冷え込むようになりましたね。今回は、子どもの成長に伴って、私が新たに始めたサークル活動についてお話しします。

私は、就園前の子どもと親が交流を深めることを目的に活動をしている「かまくらキッズ」というサークルで活動をしてきました。自分の子どもが幼稚園に上がり、かまくらキッズを卒業することになった3年前。ある日、ママ友から電話がありました。「今『おもちゃばこ』という団体が活動をしているんだけど、仕事を始めることになって活動に手が回らなくなりそうなの。手伝ってくれないかな。」

「横手の子育て応援誌『おもちゃばこ』は、小学校入学前の子どもたちに関わる情報をフリーペーパーにまとめ、発行しているサークルです。何かを頼まれたとき、これまでなら「え～！自分のことで精一杯なのに、とてもムリムリ！」と言うところですが、かまくらキッズでの活動を通じてNPO活動の楽しさを実感してきた私は「声をかけてくれてありがとう。私でよければお手伝いします」と心から即答できました。こんなに前向きに、新しいことを始めることができるようになったのだなあと、自分の成長を実感しました。

しかし、その時の私は、ママ友から誘われることがなければ、自分から門を叩くことはなかったと思います。それは自分から積極的に関わっていくのと、人から誘われて関わるのでは、周りの反応が違うと思っていたからです。自分からやると言えばそれだけ責任も重くなるし、やる気

子育てママ とNPO



があると思われて必要以上に頼られ、抱えきれない仕事を任せられるのではという不安がありました。つまり、自分を防衛していたのです。

でも、NPO活動を通じて、少しずつ考え方が変わってきました。活動を通じて出会ったNPOの人たちは、「こういうことをしてみたい」「こうだったらいいのに」という想いが常に心の中にあり続け、信頼できる仲間と活動を楽しんでいるように感じます。そういう方とお会いすると、すごく魅力的だなと思います。そんな出会いのおかげで、最近、私は自分の防衛だけを考えるのではなく、やりたい事があるならそれに一生懸命になってみようと思うようになりました。もちろん、どんなに強い想いがあっても、一人でできることは限られています。だからこそ、志を同じくする仲間と一緒に活動していきたい。今、活動を始めた時の新鮮な気持ちを思い出しています。NPO活動は、本当にワクワクするものです。みなさんも一緒に、人とのつながりを増やしながらかん張りていきましょう。

横手の子育て応援誌「おもちゃばこ」

子育て中のママを中心に、メンバーが特技を活かしながら、子育てに役立つ情報をまとめたフリーペーパー「おもちゃばこ」を作成している。年4回発行。800部を横手市内の児童館やスーパー、小児科などに配布している。



編集後記



取材のため“後三年合戦”を勉強して、とても切ない気持ちになりました。この土地で起こった凄惨な戦いによって、たくさんの方が亡くなった…。言葉もなく静かにたたずむ自然は、全てを見ていたのでしょうか。時の流れを感じて、不思議な感覚に襲われました。(虹)

時間は止まってくれません。置いて行かれぬように、ドンドコ走り回る毎日です。はっと気づけば、黄色色だった田んぼも表情を変えていて…。忙しい時こそ心と体を休め、ゆとりを持てるようになりたいですね。みなさんのリフレッシュ術、ぜひ教えてください。(ひよこ)



南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00~18:00
土 9:00~17:00

【休館日】木曜日・年末年始(12/29~1/3)

〒013-0046

横手市神明町1-9

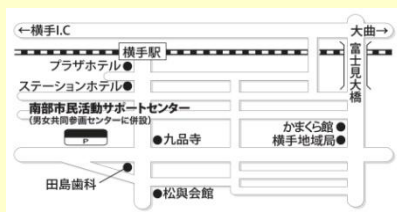
TEL.0182-33-7002

FAX.0182-33-7038

E-mail.ssc7002@luck.ocn.ne.jp

http://www.akita-kenmin.jp/

hg030001



秋田県ボランティア・NPO活動ニュース 県南版 はんさん 10月号

2012年10月10日発行

発行：秋田県企画振興部地域活力創造課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1
TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター
〒013-0046 横手市神明町1-9
(南部市民活動サポートセンター)
TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038